

みらい通信

第61号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
発行日 平成25年10月31日(木)

■ 「古着はゴミなんかじゃない！」ドンドンアップ 岡本氏講演

9月3日(火)、紫波町中央公民館において、古着のリサイクルをテーマに講演会を開催しました。

(株)ドンドンアップ代表取締役岡本昭史氏を講師に迎え、紫波町の新たなごみ減量のしくみにヒントを与えてくれる講演会となりました。現在、紫波町でも古着の回収は行っていますが、燃えるごみと一緒に出している町民がほとんどと思われます。また、古着を資源回収に出したとしても、実際は集まった古着の90%は焼却されているのが現状です。

(株)ドンドンアップでは、回収された古着などを100%リサイクルし、日本での古着販売や東南アジアやアフリカ諸国での事業展開もしているそうです。回収については、店舗への持込を受け付けているほかに、市町村の協力も得て、古着の回収システムが開始されました。(例：軽米町など)

紫波町でも今年度設立された「しわエコ連絡会」を中心に、古着回収の取り組みを検討していくこととなります。



しわエコ連絡会とは？

町内の環境関連団体が情報や事業の共有化を図るため、連携しました。現在の登録団体は、紫波町環境衛生組合連合会、紫波町ごみ減量女性会議、環境マイスター紫波、NPO法人紫波みらい研究所(事務局)です。

親子ふれあい研修



9月29日(日)、山王海土地改良区主催で親子ふれあい研修が開催されました。昨年に引き続き、山王海ダム、平成の森での事業を予定しておりましたが、8月9日の大雨の被害により、ダムまでの道路が通行止めになったため、現地でのイベントはできませんでした。

山王海土地改良区の事務所に集まり、山王海ダムの役割や土地改良区がどんな仕事をしているか学びました。また、紫波町の自然の豊かさを知ってもらうため、私たちNPOも自然観察会に講師を派遣しました。子どもたちは、木の実・葉っぱ・虫を見つけては、歓声をあげ、城山の自然を満喫していました。

お昼には、紫波町の農産物をふんだんに使ったお弁当をいただきました。

最後には、滝名川で稚魚放流を行い、稚魚がこれから出会うであろう壮大な旅に思いを巡らせました。

星山みんなの森 森林観察会

10月23日(水)、星山みんなの森において、星山小学校5年生の森林観察会を開催しました。星山みんなの森は、平成18年に星山小学校の建築材を伐った場所に、その次の世代のため、児童みんなで植樹をしたところです。児童たちは、自分たちの先輩が植樹をした苗木の成長ぶりを、紫波みらい研究所会員の指導のもと真剣に観察していました。



しわエコまつり

10月26日(土)、ナックスホールにおいて、しわエコ連絡会主催の「しわエコまつり」を開催しました。広く環境をテーマに各団体が趣向を凝らした内容のイベントとなりました。

多くの子どもたちは、色々なものを作ったり、川の生き物に触れたりしたことがとても楽しかったという感想でした。また、子どもだけでなく、保護者や大人の参加者からも「楽しみながら、環境のことを学べるイベントで良かった。これからも継続してほしい」というご意見をいただきました。主催した各団体もお互いのブースを回り、情報や意見交換ができました。



紫波町環境衛生組合連合会

紫波町のごみの処理にかかる費用や3Rなどについて説明しています。



紫波町ごみ減量女性会議

かんたんおやつ「親子でつくる豆銀糖」。プリンなどの空カップを再利用です。



環境マイスター紫波

川や池などに棲む生き物を見て、触れてもらいました。ほかに利き水もやってみました。



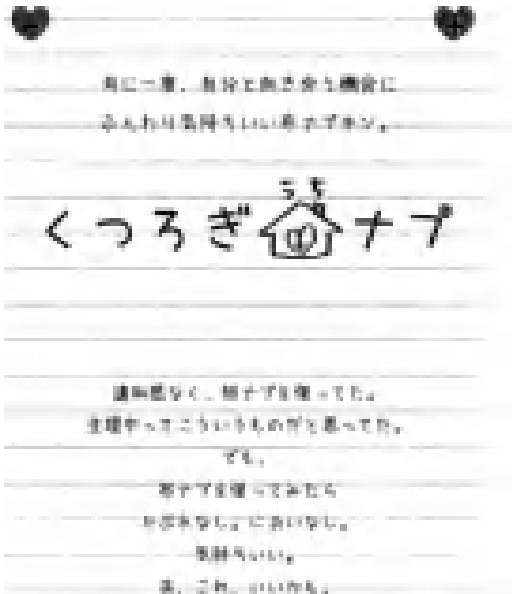
NPO法人紫波みらい研究所

トイレトーパーパの芯(資源ごみ)や牛乳パックで、花・動物・車などを作ってもらいました。

とってもエコな布ナプキンの紹介

布ナプキンって知っていますか？

月に一度、女性にとっては生理って、やっかいなものだけど、とても大事なもの！
 だけど、紙ナプキンやライナーはもったいないですよね。なんとかできないものかと思っていたら、
 あるんですね、布ナプキンが！種類が色々あるので、生理日以外でも毎日使ってもいいんです！
 若い女性も熟年世代も快適に使えます。市販の紙ナプキンやライナーより、だんぜん「エコ」ですね。
 紫波町で布ナプキンを制作・販売している(株)ループラスの取り組みをご紹介します。



3種類の布ナプキンです。現在は、産直あぐり志和と紫波マルシェで販売中！

はじめての方へ

「布ナプキン」は自然の生地でナプキンです。洗濯して繰り返し使用する事ができます。環境にやさしく、エコな商品が、親しい環境にも使用されています。

布ナプキンは、「布ナプキンを使ったら、しずかちゃんも喜ぶはずだから」という思いから布ナプキンです。

私たちがいい環境での生産をぜひ体験してみてください。

ナプラインナップと基本の使い方

3つのナプキンの種類があります。それぞれ使い方の説明があります。そのままで使っても、裏が汚れたら裏側を洗って使えます。

布ナプキンの洗い方

布ナプキンは「洗剤」を入れた「洗剤」で洗います。「洗剤」は「洗剤」を入れた「洗剤」で洗います。

1. 洗剤を入れた洗剤を入れた洗剤で洗います。
2. 洗剤を入れた洗剤を入れた洗剤で洗います。

なぶ子

基本のナプキンで、洗剤で洗います。

トメさん

洗剤で洗います。

ツネさん

洗剤で洗います。

洗剤の入れ方

洗剤を入れた洗剤を入れた洗剤で洗います。

出典：(株)ループラス

ループラスは沿岸の女性たちの雇用の場づくりを目指して活動しています。

布ナプキンの問合せ先 電話 019-681-2187



こ と の は



昼間よりも夜の方が長くなって、夏の名残も見えなくなっていく。そんな、裏寂しい季節になってきました。

植物たちは、季節の移ろいを日の長さで判断します。家庭菜園の本とかにもたまに出てくる、長日性とか、短日性とかいうやつです。昼と夜との時間で、昼の方が夜よりも長くなると花が咲かないのが、長日性。昼の方が短くなると花を開くのが、短日性。

なぜ、こんな仕組みがあるか、一番大きな理由は、暑さ、または、寒さをしのぐため。1番日が長くなるのが6月、暑さのピークは8月。1番日が短くなるのは12月寒さのピークは2月。日の長短と暑さ寒さの現れにはそれぞれに2ヶ月

くらいの時間差がある。そこで、暑さに弱い植物は涼しいうちに大きくなって、日が長くなり始めてから花をつけて、暑さに耐え切れなくなる頃には種をしっかりと残している。寒さに弱い植物はその逆。(ちなみにサツマイモは鈍感な短日性。花をつける日の短さになる頃には耐えられる寒さの限界をとっくに超えてしまうので、日本ではごく限られた地域でしか花は見られない。)

こかげのうえんでは秋の深まりとともに、今まで主役だったウリの仲間、ナスの仲間が、次々と根菜や、葉菜へとその座を譲っていっています。畑の植物単体では夏毛、冬毛の生え変わりとか、衣替えとかはないですが、全体で見ると今が衣替えの真っ最中です。

こかげのうえん 関 大輔

ここのは は、今月で終了します。ご愛読ありがとうございました。

■ 11月事業&関連団体の行事

みなさんの参加お待ちしております

- 11月 8日(金) 10時~17時 **東北復興と木質バイオマスのエネルギー利用**
 内 容: ドイツにおける地域の再生可能エネルギーの戦略と政策、岩手県における復興の現段階と再生可能エネルギーの取り組み、地域に適用可能な技術と制度、持続可能性など
 場 所: 岩手大学工学部内 復興祈念銀河ホール
 入場料: 参加費無料 申し込み必要
 共 催: 岩手大学、(株)富士通総研、エコスコンサルタント
- 11月 9日(土) 10時~12時 **東北銀行企業の森づくり活動**
 内 容: 東北銀行による「城山」の森林整備
 場 所: 城山地域
- 11月10日(日) 10時30分~ **紫波町食育推進フォーラム 講演: 野崎洋光氏**
 内 容: 地産地消料理コンクール審査会、町産食材を使用したおやつを試食会、食農体験事例・食育活動の発表など

[編集後記] 2ヶ月ぶりの発行となりました。遅くなってすみません。

しわエコ連絡会のイベントを2回開催しました。2つとも満足いく開催内容だったと思います。しわエコ連絡会の皆さん、お疲れさまでした。今後も広く環境について、話し合う場を設けていきましょう。

今回の記事の中で紹介している布ナプキン。Sも使っていますが、使いごこちは満足!月1ではなく、毎日使用する年齢(笑)ですが、洗ってもすぐ乾くし、なによりあったかいし、エコです。おすすめです!